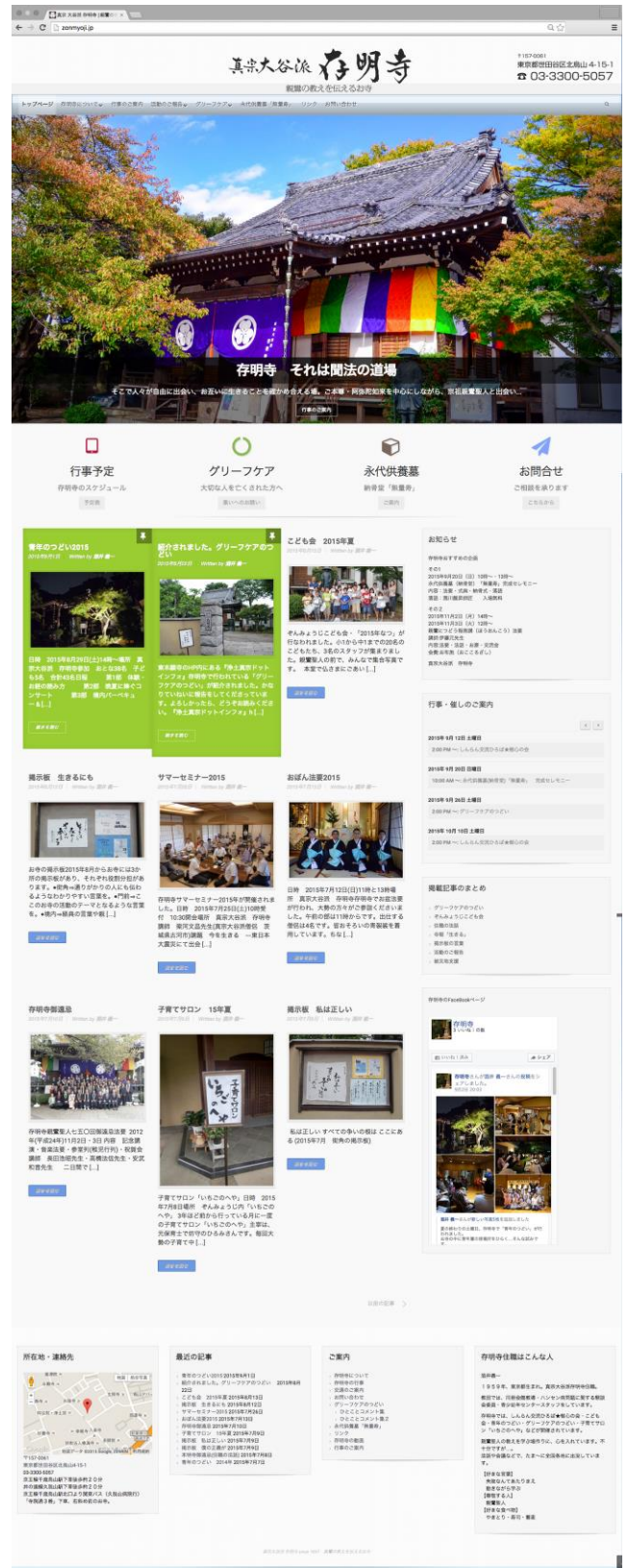


# 生る

真宗大谷派 存明寺通信

# No.168

2015年(仏歴2546年)9月20日発行



## 存明寺からのお知らせ

### ■ホームページが新しく

存明寺のホームページは1997年、総代の藤井俊五さんの手によっていち早く開設されました。以来18年間にわたってお寺の情報をお伝えしてきましたが、2015年夏、存明寺のホームページが右の図のように新しくなりました。

このホームページ作成には、神保靖之さん(世田谷区北鳥山在住)に多大なるお力添えをいただきました。是非一度、新しくなった存明寺ホームページをご覧ください。

### ■永代供養墓(納骨堂)「無量寿」

かねてからご要望のありました納骨堂が、存明寺の墓地内に完成いたしました。その名前を、永代供養墓(納骨堂)「無量寿」と命名いたしました。(下の写真)

あらゆる人々がひとつの世界で出会う。そう、お浄土のような世界をイメージしています。

ちなみに存明寺の歴代住職や坊守もここに分骨しています。母や私たち夫婦も、こちらに分骨をする予定です。

ご希望の方はお寺までお尋ねください。



存明寺 HP、リニューアルしました!

存明寺の HP <http://www.zonmyoji.jp>

## 戦後七〇年の秋に

酒井義一

人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。

夏目漱石

国のやることは間違いがない、私たちは心のどこかでそう思い込んではいないでしょうか。そして、結果的に政治のことに無関心になっ

てはいないでしょうか。安全保障関連法案のことです。

国を作るのは一部の政治家だけではなく、私たち一人ひとりでもあります。その動きに何も言わないということは、つまり無関心でいるということ、結局のところ、みんながそれに賛成したということに通じます。

次の世代に顔向けができる国になつていのでしょうか。この国の未来を作るのは私たち一人ひとりです。

正義を掲げる手が

武器を握る

澤面宣了

安全保障関連法案の根底には、国の安全や平和を願うことが、武力で身を固め武器を握るといふ姿勢に通じているようです。

まさに正義や平和を掲げる手が、武力や武器を握るといふことです。そこに大きな矛盾があります。その先に、本当に真の平和は訪れるのでしょうか。

人間の本当の願いは「通じ合って生きたい」、これだけなんですよ。

竹中智秀

人間は自分勝手な存在です。自分のことを第一に考えるあまり、時に他者を踏みつけにすることもあります。そして、そのことに痛みすら感じられないのです。

しかし、そんな自分勝手な人間のその奥底に、「通じ合って生きたい」という本当の願いが眠っている、というのです。

他者を力で押さえつけるといふ在り方を越えて、対話を重ね、他者と通じ合っていく世界を、人は心

の奥底で願い求めているのではないのでしょうか。仏法はそのことを、絶えず私たちに呼びかけ続けています。

国豊かに民安し、

兵戈用いることなし お釈迦様

国が本当に豊かで、そこに生きる民が安らかであるためには、兵（部隊）や戈（武器）で身を固めることは、無用なこと。お釈迦さまは『仏説無量寿経』でこのように説かれました。

まるでその逆を行くかのように、この国は今、積極的平和主義という美名のもと、武力で身を固め、戦争に参加できる国になろうとしています。

しかし、武力で平和を築くことはできないのです。力で相手をねじ伏せてはいけません。それでは、国が真に豊かにならず、民が安らかではない世界へとなってしまいうからず。

人間は弱い存在です。自分の中に怒りや腹立ちの心があります。そのような心が、やがて拡大し、争いや

戦争へとつながっていくのです。そんな弱さを抱える人間だからこそ、仏さまの教えが、私たちを照らし続けています。

この国が、再び戦争のできる国になつてはいけません。人々と通じ合う世界を願い求めることをあきらめず、そのことを妨げる動きには、毅然とした態度を表明することを、私の宿題とします。



お盆法要 7月12日(日)

お盆法要が行われ、大勢の方々に  
ご参詣いただきました。出仕する僧  
侶は4名。皆おそろいの青袈裟を着  
用しています。

ちなみに私(住職)以外の3名は、  
専修学院生・タンゴの歌手・学校の  
先生と、その職業はバラバラです。  
でも皆さん、真宗大谷派のちゃんど  
した僧侶です。ご承知おきください。  
法要後に、津田博司さん・佐藤眞  
彌さん・浮葉貴大さん・渡辺一真さ  
んに感話をしていただきました。御  
礼申し上げます。

## お寺の写真館

(撮影:高橋昭彦さん)



おそろいの青袈裟姿で (お盆法要)



梁河文昌先生を囲んで (サマーセミナー)



親鸞聖人の前で集合写真 (こども会)



境内でのフィナーレ風景 (青年のつどい)

サマーセミナー 7月25日(土)

講師に梁河文昌先生(茨城県古河  
市)をお迎えし、「今を生きる―東  
日本大震災にて出会った人々を通  
じて」というテーマで開催しました。  
梁河先生は、東日本大震災への支  
援活動を続けておられ、その中で出  
会った人々を通して、親鸞の世界を  
語っていただきました。

「死者との和解」という言葉が印象  
的でした。それは、私を苦しめる過  
去の出来事が、やがて私を導く尊い  
出来事へと転成していく、というお  
話でした。

夏のこども会 8月10日(月)

こどもたち20名とスタッフ3名  
が集まり、夏のこども会が行われま  
した。

工作の時間では、楽焼きに挑戦し  
ました。色とりどりの作品が完成し、  
みんなうれしそう。そのお皿を手に、  
ハイ、集合写真。

お昼ごはんは、恒例のバーベキュ  
ー。慣れた手つきで炭をおこします。  
他にも、自由遊びの時間やスイカ  
タイムなどがあり、お寺が子どもた  
ちに開放され、元気な声が響き渡っ  
ていました。

青年のつどい 8月29日(土)

青年のつどいには、大人38名こど  
も5名合計43名が参加されました。  
第一部、体験お経の読み方。仏教  
讃歌や法話・お経の読み方を体験し  
ていただきました。

第2部、晩夏に捧ぐコンサート。  
KAZUMAさん、AYAKOさん、スタッ  
フによる私の大切な曲コンサート。メ  
ッセージ付きで大好評でした。  
第3部、境内バーベキュー。缶ビ  
ール片手にホタテや牛肉などを頂  
きながら、あちらこちらで交流の輪  
が広がっていました。

◆ 9月26日(土)午後2時～

グリーンケアのつどい 500円

悲しみを生きる力にかえる

内容 勤行・法話・座談・音楽

◆ 10月10日(土)午後2時～

樹心の会 会費:300円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話 三好浩一さん・酒井住職

内容 勤行・お話・座談・全体会

◆ 10月24日(土)午前10時～

おみがきと清掃のつどい

仏具のお磨きや境内の清掃をします。昼食をご用意いたします。

◆ 11月2日(月)午後2時～

3日(火) 正午12時～

報恩講法要

—親鸞に出遇う法要—

講師 伊藤元先生(福岡県)

内容 法要・法話・お齋

好評につき伊藤先生の再登場!!

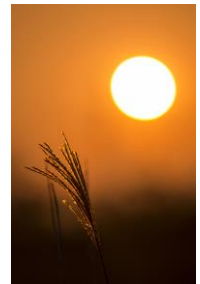
◆ 11月21日(土)午後2時～

樹心の会 会費:300円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話 羽田節子さん・酒井住職

内容 勤行・お話・座談・全体会



◆ 11月27日(金)～29日(日)

真宗本廟奉仕団(京都)

おとなのための修学旅行

お早めにお申し出ください。

◆ 12月12日(土)午後2時～

樹心の会 会費:300円

親鸞聖人に人生を学ぶ

一年を振り返って大感話大会

内容 勤行・お話・大感話大会

◆ 12月19日(土)午後2時～

グリーンケアのつどい 500円

大切な方を亡くした人々の集い

内容 勤行・法話・座談・音楽

◆ 16年1月1日(金)

年の初めの修正会

内容 勤行・年頭法話・感話・乾杯

※会場は、すべて存明寺です。

11月の奉仕団のみ京都です。

● 親鸞につどい 報恩講法要

11月2日(月) 午後2時～

2時 報恩講法要

3時 法話

5時 解散

11月3日(火) 正午・12時～

12時 おとき

13時 報恩講法要

14時 法話

15時 解散

場所 存明寺

講師 伊藤元先生

(福岡県・徳蓮寺前住職)

会費 お布施(おこころざし)

【あしがき】

▼猛暑をふるった夏も8月後半からは腰くだけ。これでも夏かと思うほどの長雨が続き、秋のような気候でした。

▼なんとなく、何かをやり残した気がするこの夏です。具体的なことはさておき、それは「夏を楽しむ」ということだったのではないのでしょうか。

▼考えてみれば、人生も同じなのではないでしょうか。なんとなく、何かをやり残した感じを抱きながらこの世を去っていくことは、誰もたえられないはずです。

▼「人生を楽しむ」ことを忘れずに過ごしていきたいものです。では、一体どうすれば人生を楽しむことができるのでしょうか。そこをこそ、浄土真宗の教えに訪ねていきたいものです。

▼秋の存明寺、皆さまのお越しをお待ちしております。

(住職)



東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp